



第6回 機器分析基礎セミナー

信州大学基盤研究支援センター 機器分析支援部門

DNAシークエンシングの基本原理と活用法

演者:近藤 真人氏

Technical Support, Thermo Fisher Scientific

日時:平成30年2月8日(木)17:00~18:30

場所:旭総合研究棟 3階

信州大学基盤研究支援センター
機器分析支援部門 小会議室



要旨

DNAシークエンサに用いるキットは、様々な種類があります。基本原理を理解することで、キャピラリーシークエンシング(サンガー法)か、次世代シークエンサ(NGS)か、目的に最適なプロトコールが見えてきます。また、検体の状態にあったプライマーセットはすでにデザイン済みで提供される時代が到来しています。

コストパフォーマンスや代表的なトラブルシュート例を含め、無駄のない効率的なシークエンスを実践する手法をご紹介します。

1. DNAシークエンサの原理
サンガー法/NGS/目的に応じた使い分け
2. プライマーデザインから解析までのワークフロー
3. 各種アプリケーション紹介
4. トラブルシューティング

演者による個別相談会を2月9日(金)に予定しています。参加希望の方は2月2日(金)までに機器分析支援部門へご連絡ください。



【お問合せ】信州大学基盤研究支援センター 機器分析支援部門

松本市旭3-1-1

TEL : 0263-37-3097

URL : <http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/kiban/kiki/>

E-mail : kikijimu@shinshu-u.ac.jp